

緑が丘児童館・学童保育クラブの民営化 についてのコメント特集！！

子どもに関わる政策を審議する
目黒区文教・子ども委員会の
委員にききました。

* 区議会で議員数が多い会派順に掲載しています。

自由民主党目黒区議団

先日、私どもとお会いし、区からの説明に対するご心配の声を頂戴いたしました。区の基本計画では、児童館に限らず公民連携の推進を掲げており、私どもとしても、その推進を支持する立場です。

公民連携は、いわゆる「丸投げ」ではなく、区が責任を持って関与し、サービスの質を落とさないことが重要です。私どもは、先の9月議会で、「区が積極的に関与するスーパーバイザーを置くような新しい仕組みが必要だがいかがか。」との質問を行いました。区からは、「適切な公民連携の推進に向けて区の役割をしっかりと果たしていく。」との答弁がありました。

今後とも、地域とともにつながる緑が丘児童館・学童保育クラブを皆様と一緒に作っていきたいと考えていますので、御意見ご要望をお知らせください。

吉野 正人 議員 (新風めぐろ)

我が家の子どもたち3人は八雲住区センター児童館学童保育クラブにお世話になり親として大変感謝しております。

当時父母会長を務めていた際には東京都や全国の児童館・学童保育クラブ研究集会等へ参加する機会が多々あり他自治体の保護者の方々と情報交換をしていくうちに改めて本区の学童保育クラブの素晴らしさ実感しました。

私は民営化自体を否定する訳ではありませんが本区がこれまで公設公営として培ってきた児童館や学童保育クラブのシステム、文化等を民間事業者にしっかり理解して頂き継承していくべきと考えます。そしてその点を区は保護者や地域の方々等へしっかりと説明をすべきと考えます。

今後ともこの件に関しては注視して参ります。

日本共産党目黒区議団

日頃より地域の子育てにご尽力いただき、敬意を評します。

目黒区はこの間、区立保育園、学童・児童館の民営化計画を住民の声を無視して強行しています。ひもんや保育園をはじめとする区立保育園民営化への反対の声は、紙、オンライン合わせて合計7,392筆分に上り、パブコメに対する意見は、1,000件を超えるなど異例の多さです。株式会社保育園で運営費の不正受給が発覚しましたが、区はその反省もなく公民連携が重要などと、さらに民営化を進めています。

緑が丘では、地域から児童館・学童の民営化はやめてくださいと要望書も出ていますが、応えようとしません。住民こそ区政の主役です。民営化計画は見直しするべきです。

岸 大介 議員 (無会派)

基本計画を走らせながら、順を追って決めてゆかなければならない行政プロセスに、地元住民が不信を感じている事を目の当たりにする。委託化以降も区が確実にコミットしてゆくという事、全ての責任の所在は区にあるという事は伝わりきっていない様に感じた。

また、“不退転の覚悟”はどの様に示せているのであろうか？仮に不本意な結末を迎えた時の責任の取り方に関しては、もう少し詰める必要がある。あるべき児童館の姿のイメージ、事業者選び、プログラムの中身に関してのベターな解は、区と地元住民の対話の場であるこの場から生まれる。

児童館を中心としたコミュニティの継続を如何に担保されるのか？最重要なテーマとして認識する。

文教・子ども委員会の議員の方々との面談は、暑さの厳しかった8月から始まりました。

8月上旬、緑が丘児童館・学童保育クラブを公営のままに残したい、という想いを伝えるため、目黒区議会の文教・子ども委員会の皆様へ「みどりっ子とまち」1～4号をお送りしました。

それをきっかけに、自由民主党目黒区議団と日本共産党目黒区議団の議員の方々、新風めぐろの吉野議員、無会派の岸議員との面談が実現しました。無会派の梅田議員とはメールでやり取りをさせていただきました。連絡がなかなかできなかった公明党目黒区議団の飯島議員と無会派の松田議員には、私たちの考えをまとめた資料をお送りしました。

お忙しい中、私たちの話に耳を傾けてくださった議員の皆様にご心より感謝し、面談のレポートをいたします。

自由民主党目黒区議団の皆様との面談は、会派の会合で30分間のお時間をいただく形で行いました。

会合では、幹事長の田島議員、文教・子ども委員会の鈴木議員、磯野議員に加え、小野瀬議員、佐藤議員、河野議員、小林議員、西村議員の8名もの議員の皆様が私たちの意見を聴いてくださいました。

「自民党として民営化には反対しない」という立場だということです。それでも、民営化後もサービスの質を落とさないことをお約束いただけるそうです。

日本共産党目黒区議団との面談では、文教・子ども委員会の石川議員、芋川議員、昨年度同委員会に所属されていた松嶋議員とお話ししました。保育士のご経験のある、石川議員からは、目黒区の公営施設の保育は全国でもトップレベルであり、民営化についても慎重な姿勢だったのにも関わらず、近年急激に民営化の方向に突き進み始めたという話を伺いました。民間の保育業界は賃金等の労働条件が悪く、若い保育者がどんどん辞めているのが現状だそうです。目黒区の素晴らしい保育を公営のまま残していかななくてはならないと再確認しました。

吉野議員には、昨年度より、緑が丘児童館・学童保育クラブの陳情審議に注目していただいております。お話しをはじめた直ぐに、公営のまま残してほしいという私たちの想いにも理解を示してくださいました。

吉野議員のお子様も目黒区の公営学童保育クラブを利用されており、公営の良さを実感されていると伺い、大変心強く感じました。

岸議員との面談は、奥様とお子様にも同席していただき、和やかな雰囲気で行いました。

これまでの活動の経緯を説明したところ、岸議員は、中立的なお立場から、目黒区で計画案として決定している民営化計画については、多くの区民からの要望が無い限りは再検討することがなかなか難しいことを率直に伝えてくださいました。厳しい状況ですが、この問題をより多くの方々と共有し、要望を届け続けたいと思います。

発行日 2022年12月6日

発行人 目黒区立緑ヶ丘小学校PTA有志
緑が丘学童保育クラブ父母会有志
自由が丘住区住民の会
元緑ヶ丘小学校PTA会長有志（12名）

自由が丘住区センターにご意見箱を設置しました。
ご意見がありましたら、メモ用紙等ご記入いただき
投函してください。
メールでも受け付けております。
お気軽にお寄せください。



midorigaoka.gakudo.jidokan@gmail.com